

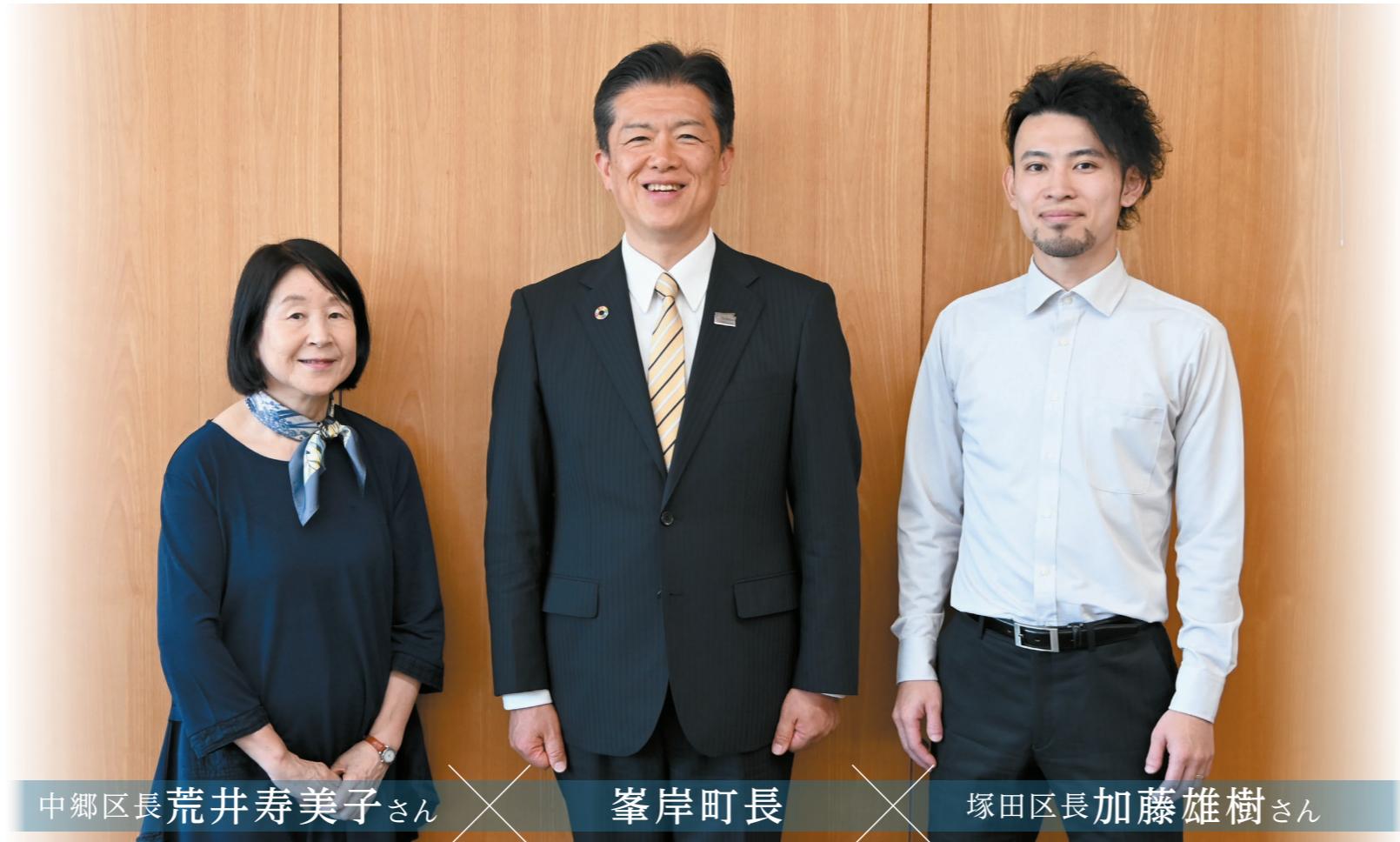
「女性だから」と尻込みしないで



唯一の女性区長
中郷区長 荒井寿美子さん

皆野町出身。結婚後は東京で生活し、昭和60年に寄居町へ。長年、町内で勤務し、現在は月10日程度パート勤務している。

第六章 亂世



中郷区長荒井寿美子さん

峯岸町長

塚田区長加藤雄樹さん

変わる自治会



30歳最年少区長
塚田区長 加藤雄樹さん

秋田県出身。高校卒業後、寄居町近隣の企業に就職。勤務先、スーパー やコンビニ、学校が近いという点から2年前に寄居町への移住を決意。

寄居町では令和6年4月1日現在で約1万2300世帯が自治会に加入しています。自治会は自分たちが暮らす地域を安全・安心で住みやすくするために、地域住民の皆さんによつて自主的に運営されている組織で、寄居町には67区あります。

現在、少子高齢化や単身世帯の増加、働き方の多様化など、さまざまの要因により区長に限らず、役員のなり手不足が問題となっています。

そこで、自治会運営を担う区長に令和6年度新たに就任した、男衾の中郷区長の荒井寿美子さんと塚田区長の加藤雄樹さんをお迎えし、就任時のエピソードや地域に対する思いを峯岸町長が伺いました。

には仕事や、高齢等の理由で候補が少数に絞られました。最後はくじ引きで決めるということになり、当たった仕方ないという気持ちはありませんでした。その決定前日に議会だよりが配られ、そこに女性の区長が一人もいないと、この記事が掲載されていて、それを見た夫が「これは出番ではないか、やってみたらどうだ」と背中を押してくれました。「夫ではなく私が出ていいのかしら」という葛藤はありましたが、長年地域の方々と関わってきたので、支えてもらいながら区長の仕事はできる」と後押してくれたので、区長となる

自治防災課(☎ 581・2121内線373)

問 自治防災課(☎ 581・2121内線3733)

くじ引き、立候補なし

荒井 班長しか経験がありませんで

町長 本日は大変お忙しいとのお時間をおいただき、ありがとうございます。唯一の女性区長の荒井さん、最も年少区長の加藤さんの存在を町民の皆さんに知りていただきたいと思ひ、対談をさせていただきました。早速ですが、区長になられた経緯を教えてください。

荒井 中郷区では、今年度私の班からの区長を決めなければならず、班の中

したが、この班から区長を出さなければならぬといつて思つてました。町長 加藤区長は、在住2年で区長になるというのはかなり珍しいケースだと思いますが、どのような経緯でしたか。

加藤 塚田区も順番で班の中から選出します。今年度は自分の班が対象になり、集会所に集まりましたが、立候補は出ませんでした。僕はまだ地区のことをよく知らず、班長もやつたことがありませんが、このままではいけないと感じ立候補しました。

町長 荒井区長は先ほどの主人が背中を押してくれたとお話をあります。したが、家庭での協力関係はいかがですか。

荒井 回覧物等をパソコンで作成するのですが、私が作った書類を夫が見直しや添削をしてくれます。

加藤 仕事については、有給休暇も使

町長 今までではそこで暮らしている年数や地域の事情をある程度把握している方が順番に区長になつていて一般的でした。自ら進んでやりたいという方が少くなつていて「地区の役員をする人がいない」などなり手不足に関する相談も寄せられています。

わせてもうつていて区長の業務に理解のある職場です。自分自身も休暇を使って地域の活動に参加すること自体抵抗はないです。何事もそうですが周りの人の理解がないと動けないですね。

町長 区長になられて数力用ですが、区長職と、仕事やプライベートとの

荒井 あまりなじですが、都合によつては早めに上がりせりもりつてこます。

加藤 地区の方に理解をいただくよりも、家族からの理解を得る方が難しいかもしないです。やはり土曜日、日曜日に書類整理をすることが多いのですに、就任して数ヶ月にもかかわらず、区長として家を空けることがあります。

加藤 お仕事もやりくりしていただけてうれしいですね。